

System Advantages for You

Job Director R15

製品機能紹介資料

2021年5月

セイ・テクノロジーズ株式会社



会社概要

システム管理者やパートナーに利便性のある製品を市場に提供するための
メッセージ「**System Advantages for You**」を企業ミッションとしております。

会社名 セイ・テクノロジーズ株式会社

本社所在地

〒112-0005
東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階



資本金 / 設立

9,000万円 / 2001年3月



主要役員

代表取締役社長 三瓶 千里

事業内容

オープン系サーバーシステムの運用管理ソリューションの提供
・ 自立分散型サーバー監視ソフト『BOM for Windows』の開発・販売
・ 高機能ジョブスケジューラー『Job Director』の開発・販売
・ サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』の開発・販売
・ クラウドストレージ活用ツール『CSDMT』の開発・販売
・ その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発

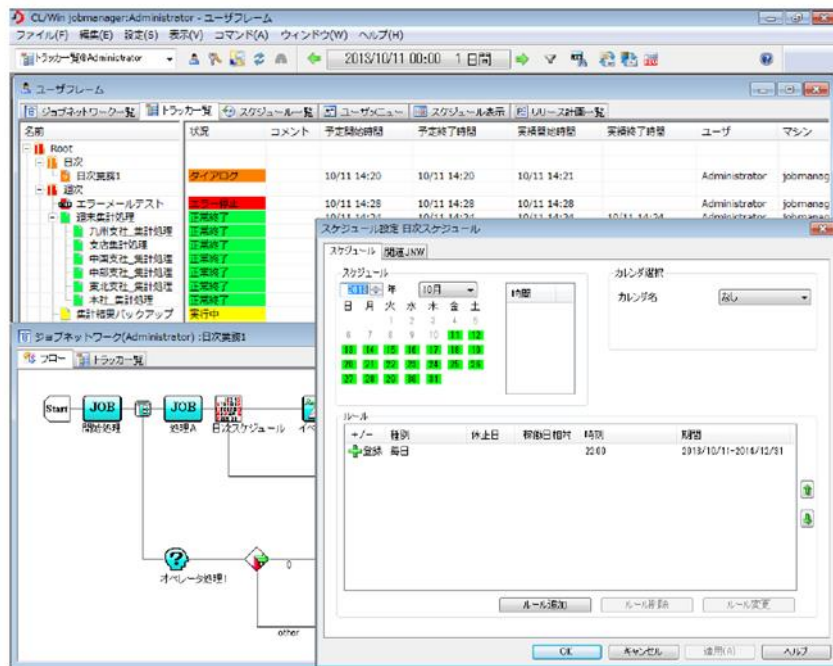


J o b D i r e c t o r R 1 5



Job Director製品概要

Job Directorは、定型業務やバッチ処理の自動運用とスケジュール管理を行うためのジョブ管理製品です。



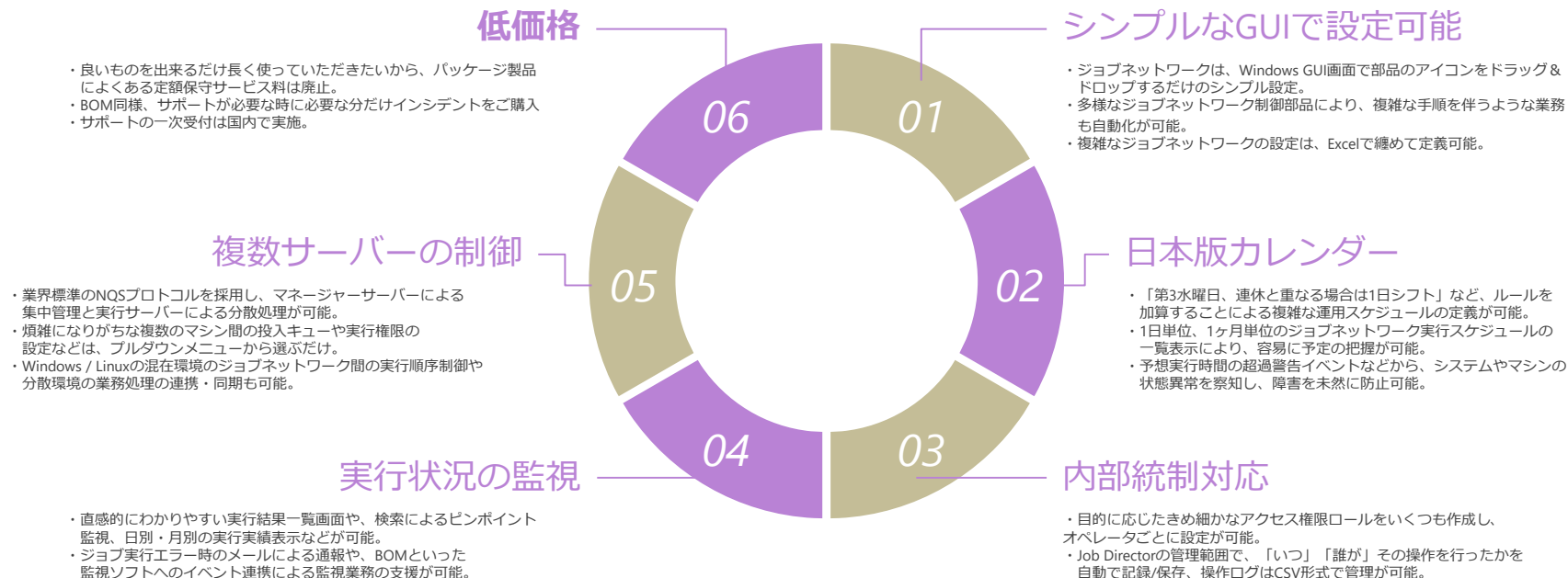
Job DirectorはGUI画面でドラッグ&ドロップによって容易に操作でき、業務の実行を一元的に監視できます。

また、稼働日カレンダーとスケジュールの設定で、業務の確実な自動実行がきめ細かく実現できます。

Job DirectorはGUI画面を用いた、判りやすいジョブの実行監視、操作、定義ができます。

Job Directorの6つの特長

Job Directorは、ジョブ管理に必要な機能が一式揃ったオールインワン製品です。大小様々な環境に対し効率的なジョブ運用管理を低価格で実現できます。



JDの変遷

Job Director は2012年の販売開始以来、
小規模からでもジョブの運用管理ができる
業務自動化運用ツールとして多数の実績がございます。

Job Director R13

- 2014.9 Job Director R13 リリース
- Linux対応

必要に応じてサポートが受けられるインシデント制を採用。
コストを押さえながらもサポート窓口が国内にあるため、
安心してご利用いただけます。

2012



Job Director 販売開始

- 2012.4 Job Directorの販売開始
- 複雑な業務フローをGUIやExcelで簡単定義/編集
- 定額の保守サービス料は不要

Job Director R15

- 2018.3 Job Director R15 リリース
- Windows Server 2016対応
- クラウドとの連携
- ウェブサービス連携の強化
- Webコンソールによるビューアの追加

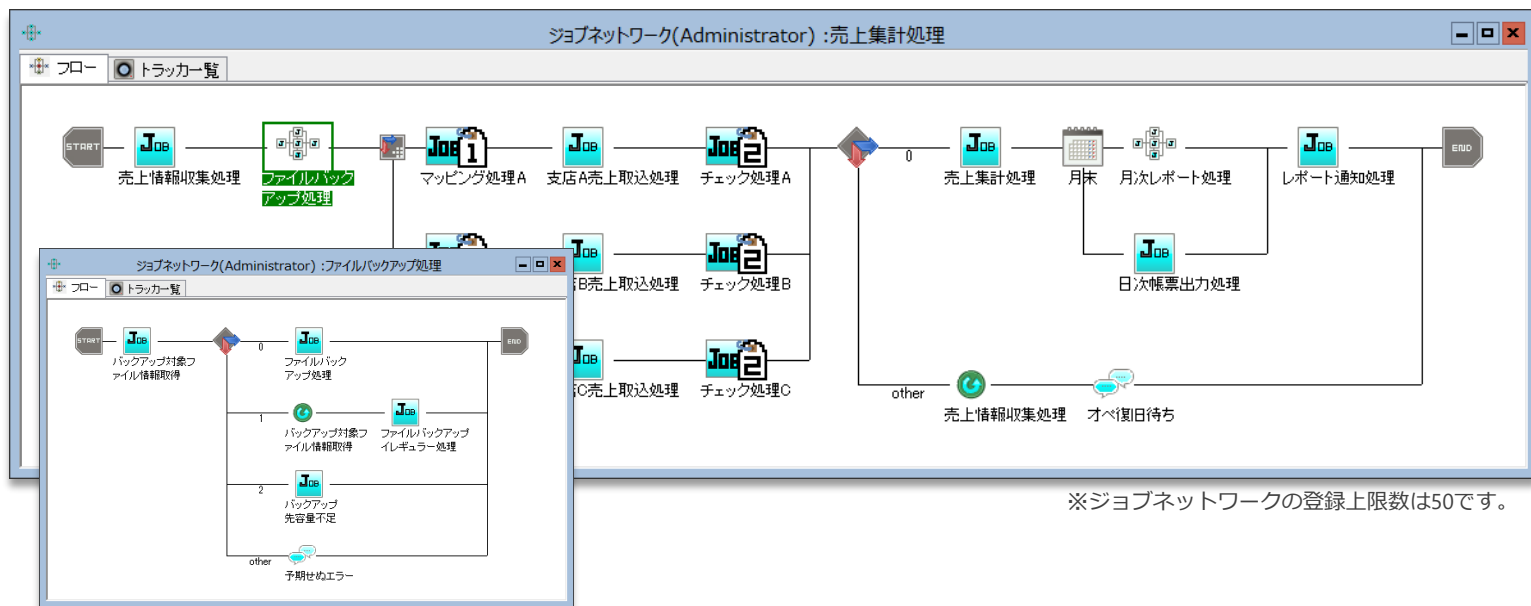
2019

シンプルなGUIで設定可能

複雑な実行条件のジョブネットワークも、GUIで簡単定義

Job Directorでは、GUI上に個別の業務をドラッグ＆ドロップするだけのシンプル操作で様々な目的を持ったジョブネットワークを定義し、日々の定型業務を安全かつ確実に運用する環境を、簡単に構築いただけます。

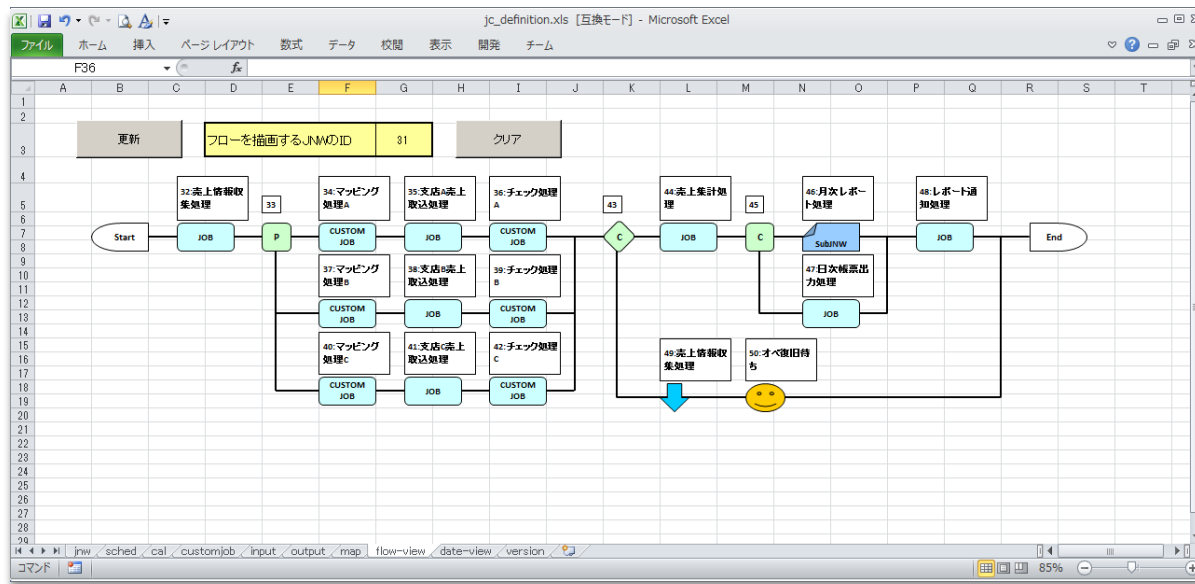
実行結果や管理者からの応答をキーとした条件分岐、管理者への各種通知なども、GUI上でまとめて簡単に定義が可能です。



手間のかかるジョブネットワークをExcelでカンタン編集(オプション製品JD Assist)

GUIだけでは手間のかかるジョブネットワークを定義する際には、入力支援機能やエラーチェック機能を搭載した専用のExcelマクロでジョブネットワークの全体を俯瞰しながら定義が可能です。

定義のダウンロード / アップロードは手軽に行えるため、ジョブネットワーク全体のリビジョン管理や、内部統制用の運用手順書の一部としても流用いただけます。



複雑な作業も制御部品で自動化

複雑な条件や手順が伴う作業の自動化を諦める必要はありません。

条件分岐や並列処理、他実行サーバーの処理結果の待合せ連携など、多彩な処理を実現する制御部品をご用意致しました。

制御部品の組み合わせで、万が一の復旧作業の自動化なども、柔軟に対応可能です。

部品名	概要
単位ジョブ部品	ジョブ実行の基本部品
サブジョブネットワーク部品	他ジョブネットワークを呼び出す部品
ダイアログ部品	操作者の確認までジョブの実行を待つ部品
条件分岐部品	ジョブ実行結果によって処理分岐する部品
カレンダー分岐部品	カレンダー稼働日か否かで実行する部品
並列処理部品	ジョブを並列実行し、両方のジョブ実行終了を待つ部品
OR分岐部品	ジョブを並列実行し、どちらか一方のジョブ終了を待つ部品
コンテニュー部品	ジョブネットワークの実行を指定位置まで戻す部品
ジョブネットワーク待ち合わせ部品	他のジョブネットワークの完了を待つ部品
ジョブ待ち合わせ部品	指定したジョブの終了を待つ部品
ファイル待ち合わせ部品	指定したファイルの有無、更新を待つ部品
時刻待ち合わせ部品	指定した時刻までジョブ実行を待つ部品
イベント待ち合わせ部品	ジョブ実行をイベント送受信によって制御する部品
カスタムジョブ部品	共通処理のスク립トをテンプレート化する部品

定義情報のリリース作業を自動化、いざというときの切り戻しも容易

ジョブネットワークなどに変更が入る場合、リリース計画機能を用いることで指定時刻に自動で新しい定義をリリースすることが可能です。また、リリース計画機能は過去の定義情報を保持しておくことができるため、リリース後に万が一異常が見つかった場合には過去の定義情報にボタン一つで切り戻すことができるなど、定義の修正と適用を分離することで定義リリース作業のリスクを低減します。

リリース時刻	状況	有効/無効	コメント	ジョブネットワーク数	スケジュール数
2014/10/01 04:00	リリース予定(チェックエラー)	有効	APサーバー増設に対応	6	6
2015/01/01 04:00	リリース予定(チェックエラー)	有効	1月の新サービスに対応	7	6
2015/04/01 00:00	リリース予定(未チェック)	有効	新会計システムに対応	9	6
2015/06/10 06:00	リリース予定(未チェック)	有効	2003サーバーマイグレーション対応	8	6

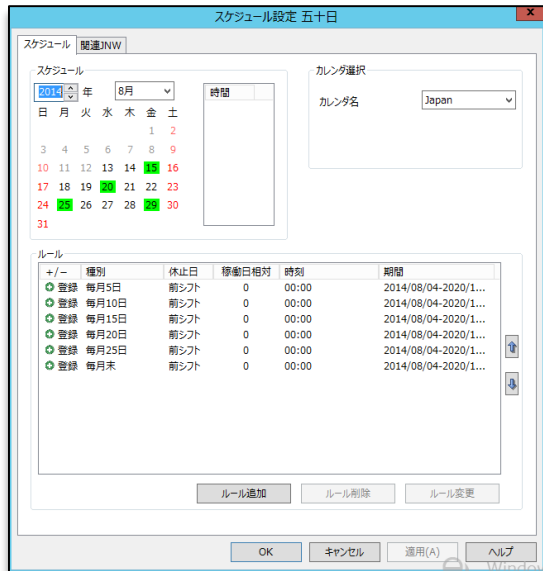
有効: 4 無効: 0 リリース済み: 0 リリース予定: 4 合計: 4 UMS Mode

日本版カレンダー

日本版カレンダーを標準添付。様々なスケジュール定義を柔軟に追加可能

Job Directorには、日本の祝日や休日を設定済みの日本版カレンダーを標準で添付。

日本版カレンダー定義と、毎月第5営業日や、締日3日前ただし当日が祝日だった場合は1日前にシフト・・・といった細かなスケジュール定義を組み合わせ、お客様ごとの営業形態やスケジュールにあわせた柔軟なスケジュール設定での運用が可能です。



内部統制対応

Job Directorで管理する範囲の証跡は、自動で記録/保存されます

「単位ジョブの作成 / 削除 / 実行」「ジョブネットワークの作成 / 削除 / 実行」「ジョブ / ジョブネットワークのパラメータ修正」「実行中のジョブ / ジョブネットワークに対する操作」「スケジュール / カレンダーの作成 / 削除 / 変更」といった操作に対して「いつ」、「誰が」その操作を行ったのか、証跡が記録されます。ログはCSV形式で作成されますので、各種分析や調査も容易に可能です。

権限	開発者	運用者	監視者
ユーザー自身のジョブネットワークの一覧と参照	○	○	
ユーザーのジョブネットワークの作成 / 変更 / 削除	○		
ユーザー自身のジョブネットワークの実行	○	○	
ユーザー自身のトラッカー一覧と参照	○	○	○
ユーザー自身のトラッカの操作	○	○	
他ユーザーのジョブネットワークの一覧と参照	○	○	
他ユーザーのジョブネットワークの作成 / 変更 / 削除	○		
他ユーザーのジョブネットワークの実行	○	○	
他ユーザーのトラッカの一覧と参照	○	○	○
他ユーザーのトラッカの操作	○	○	

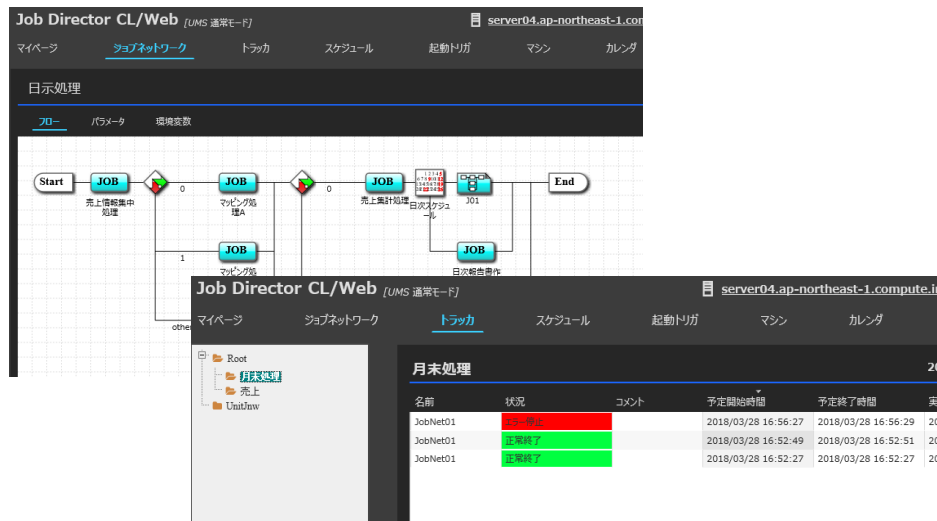
ジョブの実行予定や実行結果を一覧表示

一日単位、一ヶ月単位のジョブネットワークの実行予定や実行結果を一覧画面で切り替えて表示することが可能です。
また、スケジュールされていた開始 / 終了予定時刻を超過した場合の警告イベントによる各種アラート機能や、特定のジョブをピンポイントで検索して一覧表示する機能など、監視業務を支援する機能をご用意致しました。
ファイルへの出力も可能なため、予定と実績の比較なども容易に行えます。

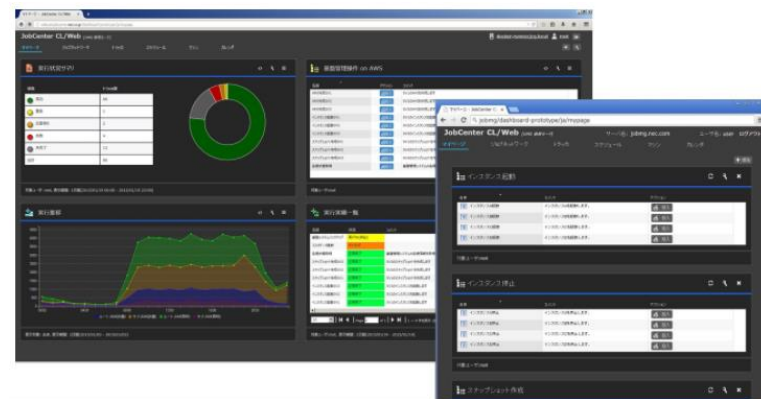


ブラウザによるジョブ確認、ジョブコントロールが可能

- ・ Jobの実行ステータス（トラッカー）をWebブラウザで確認可能
- ・ ダッシュボードにてユーザー毎の画面カスタマイズが可能



CL/Webでの参照画面

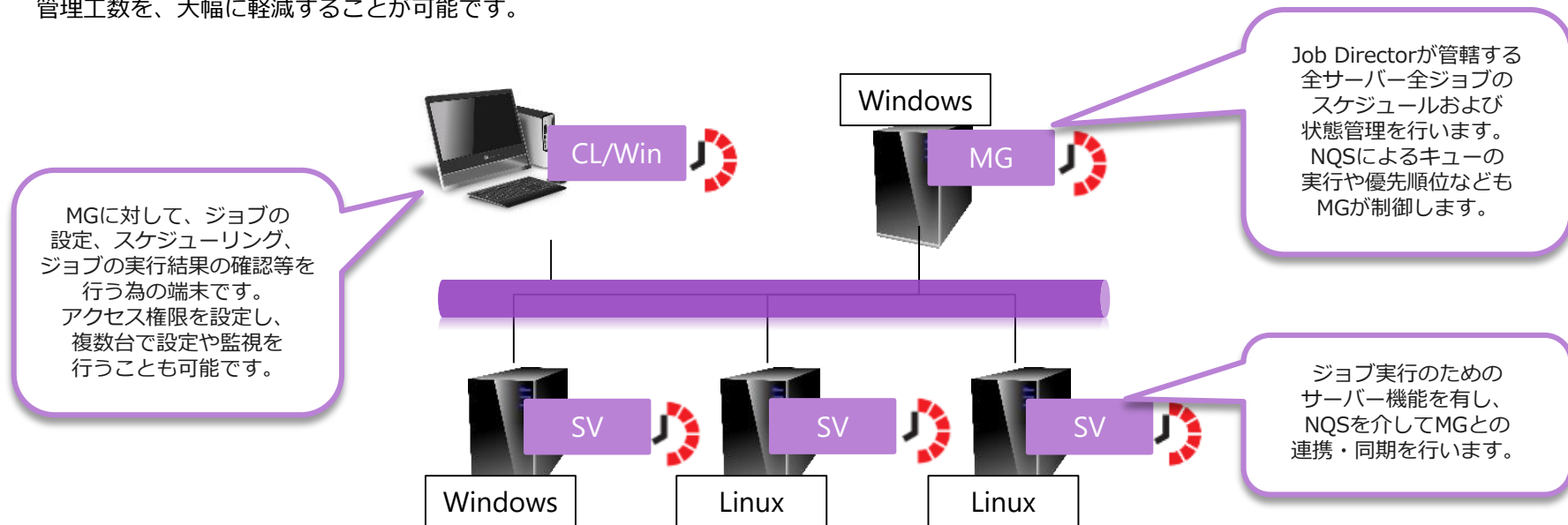


ダッシュボード

複数サーバーの制御

Windows / Linux混在環境でもジョブ分散運用と集中監視が可能

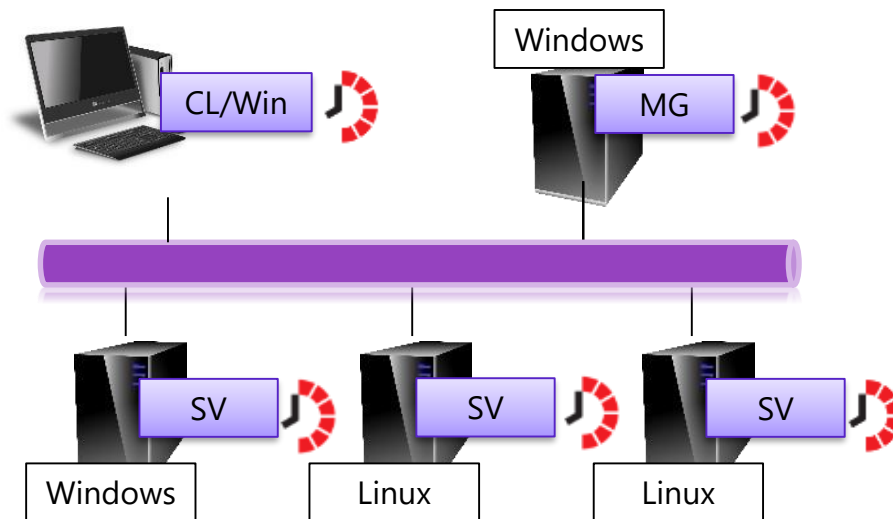
ネットワーク上に分散配置されているWindows / Linux混在環境の実行サーバーに対して、1台のマネージャーマシンからジョブ制御可能です。また、ジョブ全体を対象とした特定ジョブの優先度の制御や、分散した実行サーバーの業務処理を連携・同期させることが可能です。さらに、実行状況の結果を収集しエクセル形式やCSV形式で出力できますので、多数のWindows / Linuxサーバーの複雑なジョブの管理工数を、大幅に軽減することが可能です。



低価格

システム構成例

サーバー4台でジョブ管理を行う場合
※1台はMG・SV兼務



製品名	定価	数量	内訳
Job Director 基本パッケージ	¥148,000	1	Job Director MG × 1 Job Director SV × 1 Job Director CL/Win × 1 インストールメディア
Job Director 追加1ライセンス	¥130,000	3	Job Director SV × 1

価格情報

製品価格

型式	製品名	価格	内容
J15-SV-1P	Job Director R15 基本パッケージ (Windows / Linux)	¥148,000	Job Director R15 MG × 1 Job Director R15 SV × 1 Job Director R15 CL/Win × 1 インストールメディア
J15-SV-1L	Job Director R15 追加1ライセンス (Windows / Linux)	¥130,000	Job Director R15 SV × 1
J15-SV-1VL	Job Director R15 ゲストOS用追加1ライセンス (Windows / Linux)	¥70,000	Job Director R15 SV × 1 (仮想OS用)
J15-CW-1L	Job Director R15 CL/Web 1ライセンス	¥118,000	Job Director R15 CL/Web × 1
J15-AS-1L	JD Assist R15 1ライセンス	¥118,000	JD Assist × 1
J15-SV-UP	旧バージョンから R15 へのバージョンアップ	¥30,000	
J15-SV-LUP	旧ライセンスから R15 へのバージョンアップ	¥20,000	
JD-SP-5I	JD インシデントサポート 5インシデント	¥100,000	初回お問い合わせより6ヶ月有効
JD-SP-10I	JD インシデントサポート 10インシデント	¥180,000	初回お問い合わせより6ヶ月有効
JD-SP-20I	JD インシデントサポート 20インシデント	¥300,000	初回お問い合わせより1年間有効

システム構成

	対応製品	機能概要
マネージャ機能	Job Director R15 MG	Job Director全体の環境情報・ジョブ定義情報管理
		定義情報に基づきNQSをベースとしたサーバに対するジョブ制御や、ジョブの状態管理を行います。
サーバー機能	Job Director R15 SV	ジョブの実行
		NQSをベースとしたジョブ実行環境です。
クライアント機能	Job Director R15 CL/Win	ジョブ定義の設定、およびジョブ実行状態の監視をおこなうインターフェース
		Job Director MG / SV に接続するWindows上のGUI機能であり、ジョブの定義作業や実行状態に関する様々な監視が可能です。
ビューア機能	Job Director R15 CL/Web	Webコンソールを使用したビューア
		ジョブの定義情報や稼働状態、現状のステータスを各種ブラウザから確認できます。
Excelによる ジョブ定義機能	JD Assist R15	ジョブ定義、スケジュール定義
		ジョブや運用スケジュールなどの定義をExcelの機能を活かし効率的に行うことが可能です。

動作環境

- 対応プラットフォーム

OS名称(※1)	MG / SV(※3)	CL/Win	JD Assist (※6)	CL/Web(※3)
Windows Server 2019	○	○	○	○ (※4)
Windows Server 2016	○	○	○	○ (※4)
Windows Server 2012 R2	○	○	○	○ (※4)
Windows Server 2012	○	○	○	○ (※4)
Windows Server 2008 R2	○	○	○	○ (※4)
Windows Server 2008	○	○	○	○ (※4)
Windows Storage Server 2016	○	○	-	-
Windows Storage Server 2012R2	○	○	-	-
Windows Storage Server 2012	○	○	-	-
Windows Storage Server 2008R2	○	○	-	-
Windows Storage Server 2008	○	○	-	-
Windows 10 Pro	-	○	○	-
Windows 8.1 Pro	-	○	○	-
Windows 7 Professional	-	○	○	-
Red Hat Enterprise Linux 7 (※2)	○	-	-	○ (※5)
Red Hat Enterprise Linux 6 (※2)	○	-	-	○ (※5)
Red Hat Enterprise Linux 5 (※2)	○	-	-	○ (※5)

※1 IA-64 アーキテクチャは除きます。

※2 SELinux には対応していません。

※3 64-bit OS (x64 アーキテクチャ) のみの対応です。

※4 動作には別途Oracle 社から提供されているJava SE のJRE7 かJRE8 が必要です。

※5 動作には別途Open JDK1.7 もしくは、Oracle 社から提供されているJava SE のJRE7 か JRE8 が必要です。

※6 動作には別途Microsoft Excel 2010、2013、2016 のいずれかが必要です。
対応OS はMicrosoft Excel の動作環境に従います。

動作環境

- ハードウェアスペック要件

項目		内容
Job Director MG / SV	CPU	OSの推奨環境に準拠
	メモリ容量	(Windows) 1.5GB 以上(Linux) 256MB 以上
	固定ディスク容量	インストール時の占有ディスク容量 (Windows) 1.5GB 以上(Linux) 256MB 以上
		運用時の容量 サイジングは、マニュアルを参照
Job Director CL/Win	CPU	OSの推奨環境に準拠
	メモリ容量	20MB以上
	固定ディスク容量	インストール時の占有ディスク容量 20MB以上
		運用時の容量 サイジングは、マニュアルを参照
Job Director CL/Web	CPU	OSの推奨環境に準拠
	メモリ容量	1 GB以上 (推奨 2 GB以上)
	固定ディスク容量	インストール時の占有ディスク容量 100MB以上
		運用時の容量 サイジングは、マニュアルを参照

無償評価版のご案内

Job Director R15を無償で60日間ご利用いただけます。
評価ご希望の方は下記フォームよりお申し込みください。
評価版メディアをご提供いたします。

<https://www2.say-tech.co.jp/jd-eval>

無償評価版ではすべての機能をご利用いただけます。

製品活用例

活用事例紹介



タスクスケジューラーによるバッチファイル実行からの置き換え

バッチファイル実行をタスクスケジューラーで行っていた環境からJob Directorを活用した際の事例紹介



RPAツール（WinActor）の制御ツールとして活用

RPAツールのライセンス削減のため、使用していない時間など有効活用するためにJob Directorを活用した事例紹介



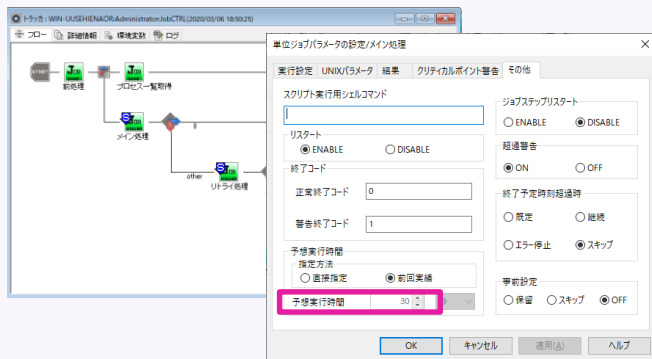
パブリッククラウドコスト削減ツールとして活用

夜間使用して頻度の低い時間にパブリッククラウドのインスタンスを減らすためにJob Directorを活用した事例紹介

活用事例紹介 ①

タスクスケジューラーによるバッチファイル実行からの置き換え

バッチ処理終了時間を管理



バッチ処理実行時間の管理

バッチ処理が、一定時間内に終了しなかった場合、ジョブを失敗として リカバリアクションなど設定が可能。

独自カレンダーによる実行

締め日3営業日前や祝日の場合は、前営業日に行うなど組織にあったカレンダーをもとに各種調整してバッチ処理を実行することが可能。

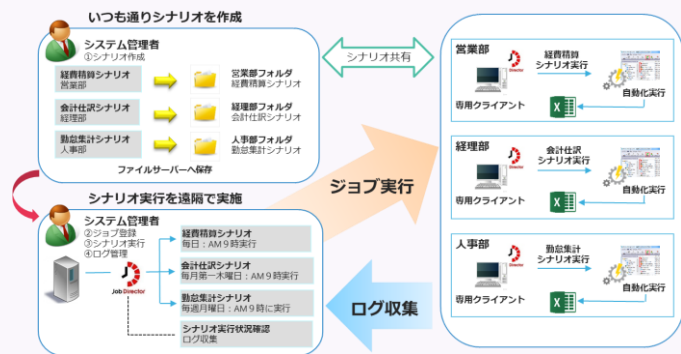
バッチ処理失敗時リカバリー処理明確化

ジョブネットワークとして、バッチ処理を連携させて実行が可能のため、失敗した場合は、どのように処理をするなどの管理が可能。バッチ処理実行時のプロセス一覧情報の取得、メモリ状況の取得など各種情報採取も並列で実行することも可能

活用事例紹介 ②

RPAツール（WinActor）の制御ツールとして活用

シナリオの実行を集中的に管理



管理者と実行者でシナリオ共有

シナリオを一か所で管理することによる実行されていないROBOを管理することが可能。

内部統制の強化にも貢献する管理機能

Job Director は、内部統制にも対応したログ管理が可能なソフトウェアであることから、どのように変更されたか管理が可能。

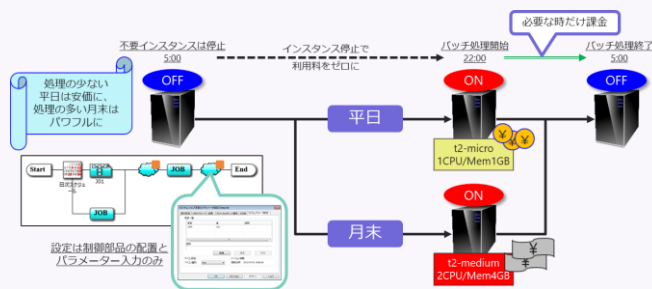
ライセンス乱用の防止

一か所で集中して管理できるため、各部署が勝手にライセンスを増やすことを防止。

活用事例紹介 ③

パブリッククラウドコスト削減ツールとして活用

フル稼働時より72%コスト削減



■ ライセンスは、1本でOK

Job DirectorのインストールされているサーバーからREST APIを発行して各インスタンス制御を行うため、低価格でスタート可能。

■ 豊富な制御パーツ

AWS、Azure、OCIに対応した制御パーツを準備。各パブリッククラウドで活用可能。

■ コストの大幅な削減

24時間365日稼働時と営業時間のみ8時間20日稼働すると一か月で72パーセントもコストを削減可能。



セイ・テクノロジーズ 株式会社

<https://www.say-tech.co.jp>

お問い合わせ先：東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階

TEL：03-5803-2461 FAX：03-5803-2463

e-mail：sales@say-tech.co.jp



Find us on Facebook

<http://www.facebook.com/SayTech.Japan>